



るびす蔵通信

「るびす」様の素晴らしさ!

佐賀県には430体以上のるびす様がある

るびす様の像がたくさんあることで有名なお隣の佐賀県を訪れました。麦秋の筑紫平野を車で駆け抜け1時間30分、一路佐賀市内へ。旧鍋島藩の城下町、歴史の息づく旧長崎街道付近に車をとめると、さっそくるびす様の石像が出迎えてくれます。30分ほど歩くだけで10体以上のるびす様に会えました。当社のるびす像に比べるとどれも小柄で、新旧さまざまで表情も色々。その多くは商店の店先に在り商売の神として祀られているようでした。当社のようにるびすを屋号とするお店もあります。なんと県内430体以上あるということですが、るびす様の笑顔で街全体が優しい雰囲気包まれているようでした。当社の創業者、荻竹次郎も長崎への旅路この佐賀の地を訪れ、きっと多くのるびす様と出会ったに違いないと当時に思いを馳せました。



佐賀市中心部の中央本町にあるるびす様の石像



旧長崎街道に面した所にあるるびす様の石像

あー素晴らしきかな朝倉市

日本で唯一自生、黄金川のスイゼンジノリ

今では朝倉市でのみ自生している川茸(学名スイゼンジノリ)をご紹介します。1763年に遠藤幸左衛門が所有地内の川(黄金川)にある藻を発見し川茸と名付け食するようになったことが始まりで、江戸時代は秋月黒田藩へ高級珍味として献上されました。ビタミン、ミネラル分が豊富で、さっと湯通ししてそのまま酢醤油で、又はお吸い物などに入れても美味しく、そのプルプルとした食感は一度口にしたら忘れられません。生態はまだ解明されていないことが多いのですが、環境の変化に敏感で、近年は水源地の開発などによる水質や水量の変化という説もありますが、残念ながら採取量が減少してきているということです。何としても川茸が住み続けられる環境を守りたいものです。



(資)遠藤金川堂 住所:朝倉市屋永2949
TEL:0946-22-2715 250g:735円(税込)

編集後記

夏の暑さにはピーチ様で健康管理

梅雨も明け本格的な暑さが到来しましたが、この季節ならではの楽しみが大好きな桃。朝倉市でも多く栽培されており、新鮮で安価な桃が店頭と並び心が躍ります。焼酎やウイスキーなど蒸留酒の熟成香としても良い香りの例としてピーチ様などと表現しますので、どこか憧れも感じる果物です。果物はビタミン類、ポリフェノール類を多く含む生活習慣病の予防や、がんの予防にも高い効果があるとされ、毎日200g以上摂る事が目標とされているそうです(桃で2個、りんごで1個程度)。日本人の平均果物摂取量/日は150gと先進国の中では最低クラス。ヨーロッパの国々では約300gということです。もっともっと生活の中に果物を取り入れ楽しみたいものですね。